厚木ロータリークラブ週報

JAPAN　第2780地区

Atsugi Rotary Club Weekly

会　　長　小林　透
副 会 長　髙橋　宏
幹　　事　西迫　哲
副 幹 事　黄金井 康巳
会報・IT　滝澤　勇

Peace Through Service 奉仕を通じて平和を

奉仕を通じて平和を

2012～2013　国際ロータリー会長　田　中　作　次

例会場　厚木商工会議所 5F　大会議室
例会日　毎週火曜日　12：30～
事務所　厚木市栄町1丁目16番15号　厚木商工会議所内

http://www.atsugi-rotary.jp　メールアドレス info@atsugi-rotary.jp　TEL.046-222-5811　FAX.046-222-5821

第2546回例会（1月22日）☆司会　西嶌洋一 SAA

点鐘　…小林　透会長

斉唱　…それでこそロータリー

会長報告

◎ガバナー事務所より
- 仙台空港へバナーを送る件　及び　空港にモニュメントを建立するための支援、国際奉仕プロジェクト2件参加お願いの件
- ハイライトよねやま　154
- インターアクト一泊研修会御参加のお願い（回覧出欠確認）
- ガバナーエレクトより一次年度RIテーマ

◎ロータリー米山記念奨学会より
- 米山功労クラブ感謝状

◎厚木市役所より
- 市民協働推進寄附のお礼

幹事報告

◎例会変更
- 寒川ＲＣ
  2月4日（月）→9日（土）6RC合同例会・第4グループIMに振替　15：00点鐘
  於：オークラフロンティアホテル海老名
  11日(月)→休会(祝日の為)
- 大和田園ＲＣ
  1月25日(金)　→　２４日(木)
  4クラブ合同例会賀詞交歓会に振替 18：00 点鐘

スマイル

小林　透会長
息子の良が成人式を迎えました。

滝澤　勇君
入会記念日のお祝いをありがとうございました。一週間遅れのスマイルです。お陰様で入会5年目に入りました。

会田義明君
本日は入会記念のお祝いありがとうございました。明日で入会丸6年となります。これからもよろしくお願いします。

黄金井康巳君
七沢のさつまいもで造ったいも焼酎「黄金露（コガネのツユ）」と七沢のかぼすで造った「かぼすビール」を明日23日に新発売いたします。新たな厚木の特産品として育ててゆきます。

前田賢一君
今日は、父の命日です。11年が経過しました。私は朝から具合が悪くこれからお医者に行ってきます。欠席になります。すみません。

田口周介君
しばらく欠席をさせていただきました。申し訳ありませんでした。生きていたかと声を掛けていただきました。ご心配をおかけ致しました。

十亀健志君
妻の誕生日のお花、ありがとうございます。

今日のお祝い　「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

＊事業所開設
西迫一郎君（31日）
常磐重雄君（2月1日）

＊誕生日
金沢文明君（29日）
本多正彦君（30日）

＊結婚記念日
髙橋　浩君（30日）

今日の例会（2013年1月29日）

「ボランティアの推進」
担当：鈴木茂男君
講師：小島利忠氏
（厚木市市民協働推進部市民協働推進課 課長）

次回の例会（2013年2月5日）

「世界理解月間」
担当：国際奉仕委員長

今日のお花

椿（壽永純昭君）

例会「ロータリー理解推進月間」

担当：山本淳一君
講師：柳田純昭君

ロータリーと職業奉仕

「職業奉仕とは」

2012-13年度
第2780地区職業奉仕委員会
柳田純昭（厚木RC）

ロータリーとは

- ロータリーは単なる奉仕団体ではない
  （弱者救済あるいは与えるだけの寄付団体・ボランティア団体でもない）
- ロータリーは、職業人の優れた倫理運動
- ロータリーの根幹は職業奉仕
- ロータリーを理解するうえで、職業奉仕を理解することが大切

職業奉仕が難しい訳は？

- 「職業奉仕」（Vocational Service）という言葉
  「職業」とは？・・・自己の生活のため
  「奉仕」とは？・・・世のため人のため
- そもそも自己矛盾を内包した言葉
- 明確な答えがない（明確な定義づけが難しい）
- ロータリーの歴史を調べ理解する
- 具体的な事例によって理解する

職業奉仕を理解するためのキーワード

- 歴史的背景
- ロータリーの綱領
- 二つのモットー
- 決議23-34
- 奉仕の理想
- 四つのテスト
- 他に道徳律の制定
  職業宣言などなど

歴史的背景

- 1905年2月23日　シカゴRC創立

シカゴRCの最初の定款

1.クラブ会員の事業上の利益の増大

2.通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進

3.シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める（年内に付け加えられた項目）

会員の相互扶助

⇒社会に対する奉仕理念の目覚め

ロータリー年表

- 1908年　職業奉仕理念が生まれる
  (アーサー・フレデリック・シェルドン)
- 1911年　二つの標語を採択
- 1915年　道徳律を採択
- 1916年　「ロータリー通解」が出版される
- 1923年　決議「23-34」が採択される
- 1927年　「職業奉仕」の名称が与えられる
- 1932年　四つのテストが作られる
  （ハーバート・テイラー）
- 1950年　2つの標語が公式標語に決定

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

- 第1、第3、第4
- 第2　事業及び専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること。

二つのモットー

- 超我の奉仕（Service above self）

  1911年第2回全国大会（ポートランド）において、ベンジャミン・フランクリン・コリンズが「超我の奉仕」に関するスピーチを行う。
- 最もよく奉仕する者、最も多く報われる
  （He profits most who serves best）

  同大会において「ロータリー宣言」の結語として採択された。以後、2つの標語はロータリ・モットーとして親しまれ、頻繁に使用された。

決議23-34

第1条

ロータリーは、基本的には一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務及びこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。

この哲学は『超我の奉仕』の哲学であり、これは『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』という実践的な倫理原則に基づくものである。

奉仕の理想

- 奉仕の理想（The ideal of service）とは何か？
- 利己的な欲求　⇔　他人への奉仕感情
- 相反する二つの心の葛藤の調和
- 「利己と利他の調和」の哲学
- ロータリーは一つの人生哲学であり、この哲学は、「Service above self」の哲学であり、「He profits most who serves best」の実践に基づく

四つのテスト

ハーバート・テイラー（シカゴRC）により創作され倒産の危機にあった会社を救済する方法として非常に効果的な方法であることが分かり、1943年に採用されました。

1954年にRIに著作権を無償で譲渡されました。

- 1.　真実かどうか　　事実をありのままに
- 2.　みんなに公平か　　基準を決めオープンに
- 3.　好意と友情を深めるか　　信頼関係を築くに
- 4.　みんなのためになるかどうか　　従業員、取引先、顧客に対し

まとめ

- ロータリーの歴史を確認することによって、ロータリアン個々が自分自身の職業奉仕論を確立する。
- 職業奉仕はロータリーの根幹
- 職業奉仕はロータリーの精神、哲学そのもの
- 個々の会員が企業活動の根本に奉仕理念をおいて、それを磨きあげ、実践すること

⇒それこそがロータリー

厚木市市民協働推進基金へ寄附

日時：1月17日

会田義明職業奉仕委員長、小林 透会長、宮台 功副市長

「防災とボランティアの日」である17日、小林 透会長と会田義明職業奉仕委員長の2人が厚木市役所を訪れ、市民協働推進基金へ20万円を寄附しました。

出席報告　＜会員 39 名、出席対象 34 名＞

1 月 7 日例会　　確定出席率 74.29％	1 月 22 日例会　　出席 29 名　欠席 5 名　出席率 85.29％
＜事後メイク＞ 田口周介君（1/11 厚木県央RC）	＜欠席＞ 常磐重雄君・平沼義幸君・前田賢一君・三宅壯平君・米山尚登君